

福岡教育大学大学院教育学研究科のアドミッション・ポリシー

福岡教育大学は、教員養成の広域拠点大学として、大学院教育学研究科では、各国公私立大学を卒業して教員をめざす学生、現職教員その他の教育関係者を対象として、教育に関する学術を研究・創出し、教育実践の水準を向上させる高度で専門的な能力をもつ人材の養成を使命としています。

教育科学専攻においては、1) 自己研鑽を図り、主体的に研究を遂行できる力、2) 高度で専門的な知識・技能による教育実践力、3) 研究活動の成果を他の教員に提案できる力を培い、各学校等で活躍できる人材を育てることを目標にしています。

そのために、求められる専門的な知識・技能、研究遂行力、教育実践力、研究成果の提案力を高めるカリキュラムを編成しています。

<次のような人の受験を期待します。>

- ◎教員をめざす強い意志と情熱をもち、学士課程において身に付けた教員として必要な基礎的・基盤的な力を基に、それぞれの領域において、自らの専門性を高めつつ、主導的な役割を果たして学校教育を推進・発展しようという熱意をもった人
- ◎それぞれの領域において必要な基礎的な知識・技能や力を有している人
- ◎教員としての幅広い視野、国際性と豊かな教養や責任を担う社会性を有している人

<入学者選抜では、次のような力を評価します。>

「一般選抜」、「社会人特別選抜」、「現職教員選抜」、「外国人留学生特別選抜」によって、それまでの学習の経歴に応じた選抜方法を課します。また、多様な方法によって多面的・総合的に評価するために、「論文」、「領域に関する科目（実技を含む）」、「外国語科目」、「口述試験」（外国人留学生特別選抜においては、「面接」）のなかから各領域の特性に応じて課します。

「論文」では、教職への意欲、教育の現代的動向に対する関心や理解、論理的思考力、文章表現力を評価するために「学校教育に関する基礎的・一般的な小論文」を課します。

「領域に関する科目」では、当該領域における基礎的な知識の理解や技能の程度を評価します。

「社会人特別選抜」や「現職教員選抜」では、領域によってそれまでの実績等を鑑みて一部の科目を免除する場合があります。

「外国人留学生特別選抜」の「面接」では、当該領域における研究計画書等の書類審査、これらに加えて意欲・熱意や適性を評価します。

領域によっては当該領域における業績がある場合には、その業績を「領域に関する科目」の全部または一部に代替することができる場合があります。

教職実践専攻においては、1) 教員としての高い使命感、豊かな人間性・社会性、2) 教員としての高度で専門的な知識・技能、3) 学校現場の課題に対応できる教員としての実践的指導力、4) 教員のキャリア・ステージに応じたリーダー教員としての力量を培い、小学校、中学校・高等学校で活躍できる教員の養成を目標としています。

そのために、若年教員層のリーダー、生徒指導・教育相談等のリーダー、学校運営のリーダーに求められる専門的な知識・技能、実践的指導力等を高めるカリキュラムを編成しています。

<そこで、次のような人の受験を期待します>

◎高い教育実践力により学校教育を推進・発展しようという熱意をもった人

教育実践力開発コースでは、学士課程において身に付けるべき教員としての幅広い視野と豊かな教養、高い専門性、確かな実践力、責任を担う社会性、将来にわたる自己実現力を有するとともに、原則として、小学校教諭一種免許状若しくは中学校教諭一種免許状を有している人又はいずれかの免許状を取得見込みの人

生徒指導・教育相談リーダーコース及び学校運営リーダーコースでは、原則として、一定の教職経験に基づく教育実践力を有している人

◎高い人権意識、バランスの取れた思考と自己理解力のある人

◎それぞれのコースにおいて必要な基礎的な知識・技能を有している人

<入学者選抜では、次のような力を評価します>

○教育実践力開発コースにおいては、「論文」と「プレゼンテーション・面接」を課します。

「論文」では基礎的な学習の到達度や、当該コースに関する関心や理解、教育課題に対する意識、分析能力、論理的記述能力等を評価します。

「プレゼンテーション・面接」では、プレゼンテーションの内容に加えて、口頭で明確に論理的に発表する力や教職への意欲・熱意や適性を評価します。

○生徒指導・教育相談リーダーコースと学校運営リーダーコースにおいては、「口述試験」を課し、事前に提出された教育実践や課題研究構想に関する書類をもとに、当該コースに関する関心や理解、教育課題に対する意識、分析能力等の当該コースにおいて求められる力を評価します。